

～ サクラは自然の温度計 ～

## サクラの開花で阪神間のヒートアイランド実態調査

環境都市工学部 宮崎ひろ志専任講師らが実施

関西大学環境都市工学部宮崎ひろ志専任講師とゼミ生らが、3月20日から市民参加によるヒートアイランド実態調査を開始します。

この調査は、桜(ソメイヨシノ)の開花日を調査することによってヒートアイランドの実態を知ることが目的として、阪神間の小中学校、高等学校、自治体、その他一般市民のみなさまにご協力いただき実施します。

### 調査目的

#### 1 ヒートアイランドの実態

ヒートアイランド現象とは都心部が郊外に比べて気温が高くなる現象のことで、地球温暖化とは原因も規模も異なります。特定の企業によるものではなく、私たちが普段の生活の中で排出する「熱」が原因なのです。しかし実態把握は難しく、解明するには膨大な機器が必要になります。そこで注目したのが「サクラ」です。

<これまで>



<実際は? >



#### 2 サクラ開花のしくみ

ソメイヨシノは、夏の間には翌年の花芽を作った後、一度成長を止めて休眠に入ります。そして、冬季の低温に一定期間さらされると目を覚まし(休眠打破)迎えた春、花芽は気温の上昇とともに生長します。



#### ソメイヨシノ【学名: Prunus × yedoensis (Matsum.)】

江戸末期または明治初期に江戸染井の植木屋が「吉野桜」として売り出したものといわれる。藤野奇命氏が上野の桜を調査した際に「ソメイヨシノ」と命名。近年、ソメイヨシノはエドヒガンとオオシマサクラの交雑種であることがわかった。接ぎ木で増やされる。実(サクランボ)は発芽しない。つまりすべてクローン。樹皮は灰色。

#### 3 サクラは「自然の温度計」

サクラは気温に強く影響されて咲くという性質があります。この性質を利用すれば計測機器を置かずしてその場所の気温が分かるのです。その上、サクラの開花は誰でも簡単に観察できます。市民のみなさまからご連絡をいただくことで、広域的な実態把握が可能となります。

## 調査概要

### 1 調査期間

2009年3月20日～4月6日まで(予定)

### 2 調査協力依頼先

(1) 大阪府(大阪市・吹田市・堺市・東大阪市・八尾市)および兵庫県(神戸市・尼崎市・宝塚市)の小学校・中学校・高等学校および自治体

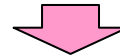
(2) 一般市民の方々

### 3 調査方法

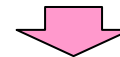
**STEP ソメイヨシノ」を探す**  
注)「カンザクラ」と間違いやすい



**STEP 毎日見る**  
毎日のことなので無理のないところで探していただく



**STEP 開花判定**  
ひとつの桜の木に5～6輪咲いたら開花



**STEP 関西大学に連絡**  
・開花日  
・桜の所在地  
・写真  
携帯電話、メール、ファックス、郵便等で以下のあて先まで連絡していただく。

<連絡先>  
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学環境都市工学部 宮崎ひろ志研究室  
TEL: 06-6368-0969 FAX: 06-6368-0093  
e-mail: kansaisakura2009@gmail.com

本調査について、詳しくは別添の「ソメイヨシノ開花日を用いたヒートアイランド実測手法について」、各学校配布調査票「ソメイヨシノ開花日調査」に参加して都市環境を診断しよう」をご覧ください。

### 【宮崎ひろ志 環境都市工学部専任講師 プロフィール】

1959年兵庫県神戸市生まれ。専門は建築環境工学、都市環境計画学。ヒートアイランド緩和策について緑地計画の観点から研究。リモートセンシング、GIS。博士(工学)

著書に『都市環境のクリマアトラス 気候情報を活かした都市づくり』、ぎょうせい(共著)、『建築と都市の緑化計画』、彰国者(共著)がある。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 広報室広報課 / 鶴丸、北谷、木村

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>